



Global COE “Network Medicine” 主催セミナー

薬物送達学分野主催 講演会 2011-6
第355回東北大学大学院薬学研究科セミナー



生命のスーパーシステムと生存戦略： 生物進化から生老病死を診る

講師： 井上 正康 博士

宮城大学 理事・副学長

大阪市立大学医学部大学院医学研究科 脳科学講座 教授

日時： 2011年7月22日(金) 16:00-17:30

場所： 東北大学大学院薬学研究科 第1小講義室(1階)

生物進化の基本原理は「一創造百盗作」である。種の多様性が爆発したカンブリア紀は生命史の中で特に興味深い時代である。実はこの時代の地球環境は今も人体の随所に息づいており、ヒトの生老病死を支配している。巷では活性酸素を諸悪の根源と敵視する抗酸化信仰が根強いが、これらは感染防御、循環エネルギー代謝、形態形成など、生命維持システムの必須因子でもある。食を得て今日を生き伸びれば明日に遺伝子を繋ぐ欲望が芽生える。この遺伝子継承活動も活性酸素により支えられている。多彩な疾患や老化の原因と信じられている活性酸素は、生存を支援するスーパーシステムとして機能している。研究は流行に左右されやすいが、病気や生命の設計図は流行と無縁である。

本講演では、悠久の生命潮流が創生した生命のスーパーシステムを紹介し、進化生物学的視点から現代科学のピットホールと生老病死の分子基盤について御講演いただく予定です。多数の方のご来聴を心からお待ちしております。

世話人：〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院薬学研究科薬物送達学分野 寺崎哲也
TEL: 022-795-6831 FAX: 022-795-6886 E-mail: terasaki@mail.pharm.tohoku.ac.jp